

環境経営レポート

2022 年度

(活動期間 2022 年 8 月～2023 年 7 月)

2023 年 9 月 30 日作成



スズキメタル株式会社

目次

1. 環境経営方針.....	2
2. 組織の概要.....	3
3. エコアクション21認証・登録対象範囲.....	3
4. 許認可等の状況	4
5. 事業の規模(7月決算)	5
6. 環境組織図.....	6
7. 施設等の状況	6
8. 金属加工、処理等のフロー	7
9. 受託した廃棄物の収集運搬及び処理量.....	7
10. 鉄スクラップ買取及び廃棄物処理料金	7
11. 環境への負荷の状況	8
12. 環境経営目標(3カ年及び年度計画)	9
13. 環境活動実績(2022年度).....	10
14. 主な環境活動内容と取組結果の評価.....	15
15. 次年度の環境目標(2022年度基準)	16
16. 環境コミュニケーション	18
17. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	19
18. 代表者による見直し(2023年9月30日実施).....	19

別表 許可リスト



1. 環境経営方針

環境経営方針

当社は、金属スクラップリサイクル事業を通じて、持続可能な社会を目指し、地球環境保全活動へ取り組みます。当社事業に関連する環境法令について順守します。

当社は、産業廃棄物の適正処理や汚染の予防に努めます。また、地球温暖化防止や資源の有効活用を図るため、以下の項目に取り組み、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

- (1) 鉄スクラップ及び産業廃棄物の分別を徹底し、リサイクル率向上及び最終処分量の削減に努めます。
- (2) 処理効率及び作業技術の向上、重機アイリングストップに取り組み、鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (3) 節水教育により、水の使用量の削減に努めます。
- (4) 管理項目として、エコドライブの推進、近隣地域の清掃・美化活動に努めます。
- (5) 環境教育を通じて全従業員の環境への意識向上を図り、自らが責任を持って環境保全に取り組めるよう努めます。
- (6) 太陽光発電事業を推進し、地球温暖化防止へ貢献します。

当社の環境経営方針は、社内に掲示し、全ての従業員に周知します。
また、環境活動を「環境経営レポート」に記載し公表します。

制 定：２００８年８月１日
改 定：２０２３年９月３０日
スズキメタル株式会社
代表取締役 鈴木 和江

2. 組織の概要

- (1)創 立年月日:1948年 4月8日(個人商店)
法人設立年月日:1954年 4月8日(有限会社鈴木商店)
組織変更年月日:1997年10月6日(スズキメタル株式会社)
- (2)資本金:1,000万円
- (3)売上高(7月決算)
2022年度:1,266 百万円
- (4)事業所名及び代表者名
事業所名:スズキメタル株式会社
代表者名:代表取締役 鈴木 和江
- (5)所在地(本社及び工場)
千葉県旭市三川6601番地
- (6)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者氏名:大塚 浩志
担当者氏名及び連絡先:工場長 高橋 誠
(電話) 0479-57-3800
(FAX) 0479-57-3802
(Mail) info@suzumeta.co.jp
(H P) <http://www.suzumeta.co.jp/>
- (7)事業内容
鉄スクラップ業、産業廃棄物収集運搬及び中間処理業、使用済み自動車破碎
及び解体業、太陽光発電事業

3. エコアクション21認証・登録対象範囲

(認証・登録日2009年7月28日)

全事業所及び全事業活動にて、エコアクション21活動を実施

(1)対象事業所

本社・工場 千葉県旭市三川6601番地

ヤマサン太陽光発電所 千葉県山武郡芝山町新井田新田 246

(2)対象事業活動

鉄スクラップ業、産業廃棄物収集運搬及び中間処理業、使用済み自動車破碎及び解体業、太陽光発電事業

4. 許認可等の状況

(1) 産業廃棄物中間処理業

許可行政	千葉県	許可番号	第1220048363号
事業の範囲	切断及び圧縮による中間処理		
新規許可年月日	平成 9年7月22日		
許可期限	令和 9年7月21日		
処理 品目	切断	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	圧縮	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	

処理能力・保管施設(千葉県旭市三川字善光 6601 番、7398 番 4)

施設の種類の種類	処理能力	
切断施設	廃プラスチック類 (36トン/日) 金属くず (384トン/日) 混合物 (144トン/日)	
圧縮施設	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず(48トン/日)	
	保管面積	保管上限
切断材料保管施設	270.00m ²	897.85m ³
切断後物保管施設	321.00m ²	1,287.00m ³
圧縮前産業廃棄物保管施設	6.00m ²	7.80m ³
圧縮後産業廃棄物保管施設	20.15m ²	60.45m ³
ガス切断材料保管施設	124.10m ²	166.44m ³
残渣物保管施設	20.50m ²	23.58m ³
残渣物保管施設	10.20m ²	12.20m ³

(2) 産業廃棄物収集運搬業

別表 許可リスト(20ページ)参照

(3) 一般廃棄物処理施設許可

千葉県 許可番号 第13-8

許可年月日:平成13年7月23日

施設の種類の種類:切断処理施設

廃棄物の種類の種類:鉄くず

処理能力:144トン/日(18トン/時×8時間)

(4) 使用済み自動車関係(千葉県)

	解体業許可	破砕業許可	フロン類回収業登録
番号	20123001296	20124001296	20122001296
許可 年月日	平成 21 年 7 月 1 日	平成 21 年 7 月 1 日	平成 25 年 4 月 30 日
許可 期限	令和 6 年 6 月 30 日	令和 6 年 6 月 30 日	令和 10 年 4 月 29 日

(5) フロン類回収業者登録

	千葉県(第 1 種)
登録番号	12A001281
許可年月日	平成 30 年 4 月 30 日
許可期限	令和 10 年 4 月 29 日

(6) 古物商

千葉県公安委員会 第 441170000266 号
 交付日、昭和55年3月1日

(7) 金属くず取扱業

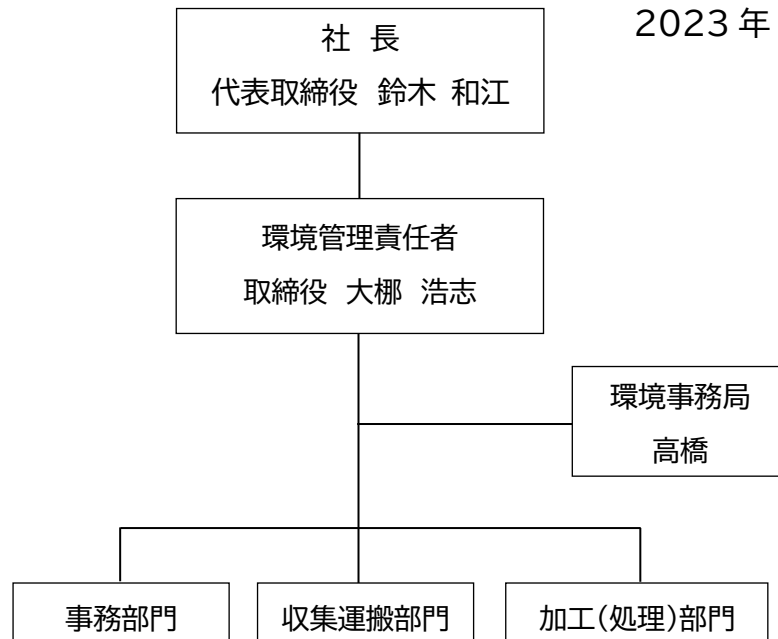
千葉県公安委員会 公 旭 第34号
 交付日、昭和55年2月5日

5. 事業の規模(7月決算)

項目名(単位)	単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度
金属加工品仕入量	トン	25,095	22,920	17,351
金属加工品販売量	トン	24,688	22,552	18,721
産業廃棄物収集運搬量	トン	247	116	110
産業廃棄物処理量	トン	368	104	109
従業員	人	12	12	12
本社・事務所敷地面積	m ²	8,651	8,651	8,651

6. 環境組織図

2023 年 8 月 31 日現在



役割

社長	環境経営方針の決定 社長による EA21 活動の見直し 必要な経営資源の投入
環境管理責任者	環境経営システムの確立・実施・維持 社長見直し時に EA21 活動状況報告
各部門	EA21 活動及び結果の報告

7. 施設等の状況

保有運搬車両合計台数	12台	保有重機合計台数	10台
18tトラクタ	1	40トンパワーショベル	1
27tセミトレーラ	2	20トンパワーショベル	1
20tセミトレーラ	1	12トンパワーショベル	2
10tヒアブ	4	5トンパワーショベル	1
15t平ボディー	1	フォークリフト	4
6tアームロールヒアブ	1	スーパー	1
4トン平ボディー	1		
2トンリフト車	1		

8. 金属加工、処理等のフロー

＜インプット＞		当社業務		＜アウトプット＞
金属製品仕入	⇒	切断、圧縮、分別作業	⇒	有価物(鉄加工品)
			⇒	リサイクル(金属付着のプラスチック)
産業廃棄物	⇒	中間処理、保管(切断、圧縮処理)	⇒	有価物(鉄加工品)
			⇒	最終処分(残渣物)
使用済み自動車	⇒	圧縮、保管	⇒	有価物(鉄加工品)

9. 受託した廃棄物の収集運搬及び処理量

2022 年度実績

項 目	数 量(トン)
産業廃棄物収集運搬量(8月～7月)	110
産業廃棄物中間処理量(8月～7月)	109

10. 鉄スクラップ買取及び廃棄物処理料金

鉄スクラップ買取、収集運搬、処理料金につきましては、廃棄物の種類・距離・量等によりお見積もりします。又、地域貢献の観点から近隣のお客様からのご依頼につきましても、個別にて対応しますのでお気軽にご連絡下さい。

お問い合わせはこちらへ

0479-57-3800(相談窓口)

メールアドレス: info@suzumeta.co.jp

ホームページ: <http://www.suzumeta.co.jp/index.htm>

11. 環境への負荷の状況

		単位	2022 年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素 (電力、軽油、ガソリン、LPG 含む)	kg-CO ₂ (注)	443,769
化学物質使用量	該当物質使用無し	—	—
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	110
	中間処理量	t	109
	うち再資源化等量	t	37
廃棄物等総排出量	総排出量	t	147
	リサイクル	t	23
	最終処分量	t	124
総排水量	公共用水域	m ³	500
水資源投入量	上水	m ³	277
	地下水	m ³	223
金属加工品	仕入量	トン	17,351
	販売量	トン	18,721

注・・・令和2年度東京電力エナジーパートナー二酸化炭素調整後排出係数(メニューJ 残さ)0.443kg-CO₂/kWh



12. 環境経営目標(3カ年及び年度計画)

(年度は8月～7月)

目標項目	責任部門 責任者	基準年度 基準値	目 標		
			2022年度	2023年度	2024年度
①分別の徹底によるリサイクル率の高水準を維持(廃棄物の削減)注 1	加工;高橋工場長	2021年度 99.7%	基準年 (99.7%) 高水準維持	基準年 (99.7%) 高水準維持	基準年 (99.7%) 高水準維持
②鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減 注 2	全社; 大塚取締役	2021年度 19,571kg-CO ₂ /トン(注) 受入量: 22,920トン CO ₂ : 448,572 kg-CO ₂	基準年度以下に削減 (19,571kg-CO ₂ /トン)	基準年度以下に削減 (19,571kg-CO ₂ /トン)	基準年度以下に削減 (19,571kg-CO ₂ /トン)
③重機軽油燃料の使用量の削減	加工;高橋工場長	2021年度 14,674L	基準年度以下に削減 (14,674L)	基準年度以下に削減 (14,674L)	基準年度以下に削減 (14,674L)
④水使用量の削減	全社; 大塚取締役	2021年度 421 m ³	基準年度以下に削減 (421 m ³)	基準年度以下に削減 (421 m ³)	基準年度以下に削減 (421 m ³)
⑤管理項目;エコドライブの推進	収集運搬部; 上代部長	—	エコドライブ教育の実施	エコドライブ教育の実施	エコドライブ教育の実施
⑥管理項目;サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	全社; 大塚取締役	—	サイト点検表によるチェック	サイト点検表によるチェック	サイト点検表によるチェック
⑦管理項目:太陽光発電事業の推進	全社; 大塚取締役	—	太陽光発電事業の発電量把握	太陽光発電事業の発電量把握	太陽光発電事業の発電量把握

(化学物質の取扱いが無いため、目標設定していない。)

注1・・・リサイクル率=鉄資源売却量/鉄資源売却量+産業廃棄物排出量

注2・・・令和2年度東京電力エネルギーパートナー

二酸化炭素調整後排出係数(メニューJ 残さ)0.443kg-CO₂/kWh

注3・・・2022年度終了後を改定した目標は、P15の「15. 次年度の主な環境活動内容」に記載

13. 環境活動実績(2022年度)

2022 年度目標 (2022 年 8 月～2023 年 7 月)		2022 年度結果 (基準比率)	評価
①分別の徹底によるリサイクル率 2021年度実績 (99%)の高水準を維持(廃棄物の削減)	・リサイクル処理ルート開拓 ・資源物、廃棄物の分別徹底	99% (100%) <u>産廃排出:147トン</u> <u>受入量:17,351トン</u>	○
②鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減 2021年度実績 (19.571kg-CO2/トン)に対し、基準年度(19.571kg-CO2/トン)以下に削減 <u>受入量:22,920トン</u> <u>CO2:448,572kg-CO2</u>	・処理効率及び作業技術の向上 ・処理施設同時運転の回避 ・エアコンの適正使用 ・重機アイドリングストップ、旋回範囲の適正化 ・運搬車両選定の適正化	25.575 kg-CO2/トン (146%) (注) <u>受入量:17,351トン</u> <u>CO2:443,769kg-CO2</u>	×
③重機軽油燃料使用量の削減 2021 年度実績(14,674L)に対し、基準年度(14,674L)以下に削減	・処理効率及び作業技術の向上 ・重機アイドリングストップ、旋回範囲の適正化	14,813L (101%)	×
④水使用量の削減 2021 年度実績(421 m ³)に対し、基準年度(421 m ³)以下に削減	・冷却水の適正使用 ・雨水タンクの活用 ・漏水調査、点検	500 m ³ (119%)	×
⑤エコドライブの推進	・エコドライブ教育の実施	エコドライブ教育資料を配布し、エコドライブ意識の向上を推進。	○
⑥サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	・サイト点検表によるチェック	側溝の清掃、不要物の撤去等整理整頓が徹底できた。	○
⑦管理項目:太陽光発電事業の推進	・太陽光発電事業の発電量把握	データ把握できた 1,309,753kWh	○

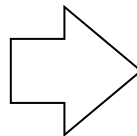
注・・・令和2年度東京電力エナジーパートナー二酸化炭素調整後排出係数0.443kg-CO2/kWh

【環境活動実績(2022年度)総評】

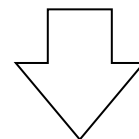
環境目標①分別の徹底によるリサイクル率高水準を維持(廃棄物の削減)

鉄加工会社や解体工事現場等から発生する鉄資源を加工(切断等)し、【鉄くず、ミックスメタル、ステンレス、銅、アルミ、真鍮等】に細かく分別し、鉄鋼炉会社へ売却しています。サイズの大きな鉄資源も大型切断機(切断シリンダー能力1,250 トン)で切断加工し、リサイクルを推進しています。なお、鉄資源の一部にはプラスチック等が鉄資源に付着しているため、切断処理やガス溶断により分別を徹底し、リサイクル率の高水準の維持が出来ました。今後も継続して、従業員へ分別教育を徹底し、リサイクル推進に取り組んでいます。

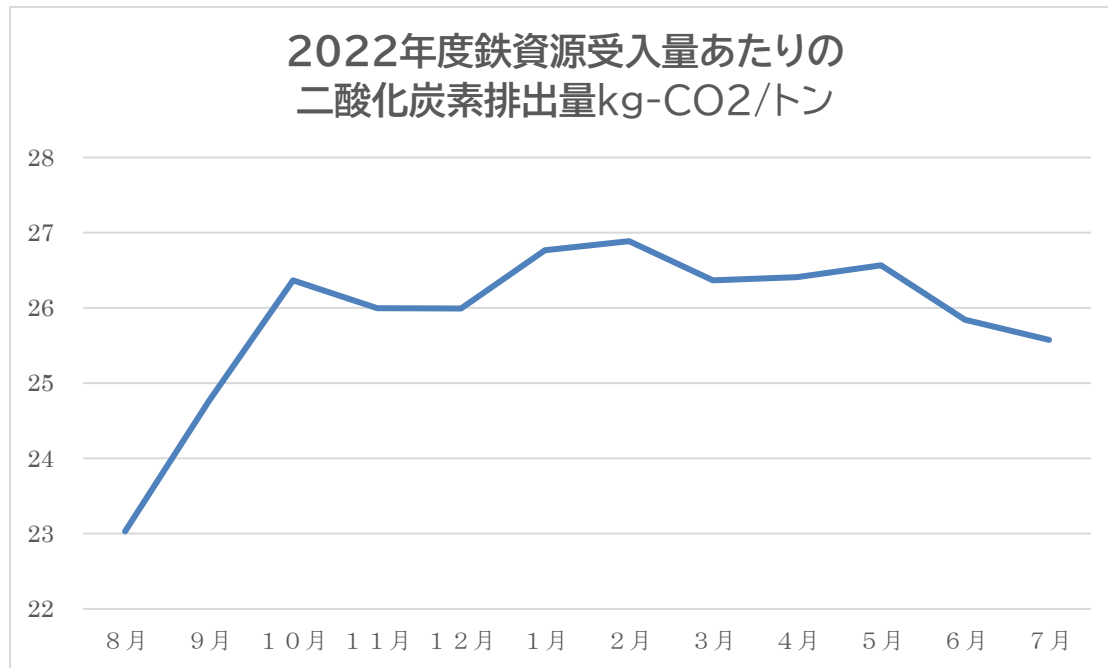
鉄鋼炉会社の受け入れ基準に合わせ
切断処理やガス溶断



再生資源としてよみがえります



環境目標②鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減



- ・鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量については、鉄資源加工(処理)作業の効率向上、重機アイドリングストップ、車両のエコドライブを推進したが、目標を達成できませんでした。鉄スクラップ仕入れ量が減少し、鉄資源を細かく分ける作業で重機使用が増えたことが要因と考えられます。
- ・金属の再生原料を加工し、売却する鉄資源リサイクルが推進することが出来た。
- ・改善の対策として、燃費の悪い大型車の廃車を検討します。
- ・当社では、自然エネルギー発電・売電事業を推進しています。



環境目標③重機軽油燃料使用量の削減

・受入量が減少しましたが、細かく分別し価値の高い再生資源として金属を売却したため重機使用時間が増え未達成となりました。取組については、重機作業担当者の作業技術の向上により、効率作業に繋がっています。なお、近年入れ替えたばかりの低騒音型重機を使用し、軽油使用量削減に取り組めます。



環境目標④水使用量の削減

- ・当社では切断機油圧ユニットの冷却のため、クーリングタワーでの循環水を使用しています。油圧ポンプの改修、処理機の効率運転(短時間処理)により冷却水の使用頻度の削減を推進していますが、本社裏の水道管が破損し水使用量が増えてしまいました。漏水点検を徹底します。
- ・温度計で水温を確認し、高温時のみ給水を行い、地道な節水活動は継続します。また、雨水をタンクに貯水し、散水用としての再利用も積極的に取り組んでいきます。



環境目標⑤エコドライブの推進

- ・エコドライブ教育資料を配布し、エコドライブ意識の向上に取り組みました。
- ・燃費の悪い大型車の廃車を検討し、車両燃料使用の抑制を推進します。

管理項目⑥サイト点検表による場内整備

- ・毎日の作業終了時に作業場の整理整頓、不要品の撤去等に取り組んでいます。
- ・定期的に油水分離槽や側溝の清掃に取り組んでいます。また、産業廃棄物保管場所表示や保管容量の確認を徹底しています。

14. 主な環境活動内容と取組結果の評価

環境経営目標	環境活動内容	2022年度取組結果	評価
①分別の徹底によるリサイクル率の高水準を維持(廃棄物の削減)	リサイクル処理ルートの開拓	鉄資源に付着していたプラスチック等の分別を徹底し、安定して取引している売却先がある。	5
	資源物、廃棄物の分別徹底	昨年と比較し、受入が減少したため、合間の時間に細かく重機で分別を推進した。鉄スクラップ品及び廃棄物の分別品を明確にして、分別を徹底している。	5
②鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減	処理効率及び作業技術の向上	受入量がまとまった時点で加工及び切断作業を実施している。施設運転、重機作業について工場長から従業員へ教育している。	4
	同時運転の回避	受け入れ予定及び鉄資源出荷予定に合わせて、切断機及び圧縮機を個別に稼働させている。	4
	エアコン適正使用	不使用時のスイッチオフの徹底を行っている。	4
	運搬車両選定の適正化	運搬物に合わせて車両を選定し、エコドライブに貢献している。	4
③重機軽油燃料使用量の削減	重機アイドリングストップ、旋回範囲の適正化	昨年と比較し、受入が減少したため、合間の時間に細かく重機で分別を推進したため重機使用時間が増えてしまった。(分別によりリサイクルは推進出来た。)アイドリングストップ、重機の旋回範囲を最小限に抑える等の努力を継続している	3
④水使用量の削減	冷却水の適正使用	油圧ポンプの改修、鉄スクラップ仕入れ量減少に伴い、冷却水の使用頻度を減らすことが出来た。	5
	雨水タンクの活用	雨水タンクの雨水を散水に活用した。	4
⑤エコドライブの推進	エコドライブ教育の実施	エコドライブ教育資料を配布し、エコドライブ意識の向上に取り組んだ。	4
⑥サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	サイト点検表によるチェック	不用品の撤去や側溝の清掃等、サイト点検表により週に1回チェックし、整理整頓を徹底している。	5
⑦太陽光発電事業の推進	太陽光発電事業の発電量把握	データ把握ができた	4

(評価点) 5点:90%以上 4点:70%以上 3点:50%以上 2点:30%以上 1点:30%未満
(スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する)

【総評】 評価点が4点以上の項目が9割となり、環境への取り組みが推進されている。

15. 次年度の環境目標(2022年度基準)

目標項目	責任部門 責任者	基準年度 基準値	目 標		
			2023年度	2024年度	2025年度
①分別の徹底によるリサイクル率の高水準を維持(廃棄物の削減)注 1	加工;高橋工場長	2022年度 99% 産廃排出: 147トン 受入量: 17,351トン	基準年 (99%)高水準維持	基準年 (99%)高水準維持	基準年 (99%)高水準維持
②鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減 注 2	全社; 大榎取締役	2022年度 25.575kg-CO ₂ /トン(注) 受入量: 17,351トン CO ₂ : 443,769 kg-CO ₂	基準比1%に削減 (25.319 kg-CO ₂ /トン)	基準比2%に削減 (25.064 kg-CO ₂ /トン)	基準比3%に削減 (24.808 kg-CO ₂ /トン)
③重機軽油燃料の使用量の削減	加工;高橋工場長	2022年度 14,813L	基準比1%に削減 (14,665L)	基準比2%に削減 (14,517L)	基準比3%に削減 (14,369L)
④水使用量の削減	全社; 大榎取締役	2022年度 500 m ³	基準年度以下に削減 (500 m ³)	基準年度以下に削減 (500 m ³)	基準年度以下に削減 (500 m ³)
⑤管理項目;エコドライブの推進	収集運搬部; 上代部長	—	エコドライブ教育の実施	エコドライブ教育の実施	エコドライブ教育の実施
⑥管理項目;サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	全社; 大榎取締役	—	サイト点検表によるチェック	サイト点検表によるチェック	サイト点検表によるチェック
⑦管理項目:太陽光発電事業の推進	全社; 大榎取締役	—	太陽光発電事業の発電量把握	太陽光発電事業の発電量把握	太陽光発電事業の発電量把握

(化学物質の取扱いは無いため、目標設定していない。)

注1・・・リサイクル率=鉄資源売却量/鉄資源売却量+産業廃棄物排出量

注2・・・令和2年度東京電力エネルギーパートナー

二酸化炭素調整後排出係数(メニューJ 残さ)0.443kg-CO₂/kWh

次年度の環境活動計画

環境経営目標	環境活動内容
①分別の徹底によるリサイクル率の高水準を維持 (廃棄物の削減)	リサイクル処理ルートの開拓
	資源物、廃棄物の分別徹底
②鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減	処理効率及び作業技術の向上
	同時運転の回避
	エアコン適正使用
	重機アイドリングストップ、旋回範囲の適正化
	運搬車両選定の適正化、燃費の良い車両の使用
③重機軽油燃料使用量の削減	処理効率及び作業技術の向上
	重機アイドリングストップ、旋回範囲の適正化
④水使用量の削減	冷却水の適正使用
	雨水タンクの活用
	漏水調査、点検
⑤エコドライブの推進	エコドライブ教育の実施
⑥サイト点検表による場内整備・整理整頓、近隣周辺の清掃	サイト点検表によるチェック
⑦太陽光発電事業の推進	太陽光発電事業の発電量把握

16. 環境コミュニケーション

(1) ちば SDGs パートナーへの登録制度への取組

環境活動に加えて、太陽光発電事業への取組、子供見守り110番への登録、若手人材の積極採用等を推進しています。



ちばSDGs



ちば SDGs パートナー1283号

(2) 自然エネルギー発電・売電事業

- ・工場隣接倉庫屋根にて、太陽光発電(27.5kw)をH26年11月から開始。
- ・山武郡芝山町新井田新田246にて、太陽光発電(1,092kw)をH26年3月から開始。

(3) 地元旭市飯岡しおさいマラソンへの参加

(スズキメタル株式会社として後援を継続しています)

地元旭市体育協会が主催し、旭市の地元食材を使った「おもてなし」として休憩地点で旭産イチゴ無料配布や郷土芸能披露入賞者に表彰や入賞商品を受け渡ししています。

17. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・2023年8月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反及び訴訟等はありません。又、違反・提訴等も過去3年間ありません。
当社では法令順守を徹底するために、従業員教育に力を入れています。
- ・主な法令：廃棄物処理法、騒音規制法、振動規制法、自動車リサイクル法、消防法、浄化槽法、フロン排出抑制法

18. 代表者による見直し(2023年9月30日実施)

報告事項(環境管理責任者)	
環境経営方針	変更あり(上段部分を微修正)
環境経営目標・活動計画	・環境経営目標はリサイクル率の向上目標は達成となりました。 ・鉄資源受入量あたりの二酸化炭素排出量の削減目標、重機軽油使用量削減目標、水使用量削減目標が未達成となりました。 ・鉄資源仕入量が減少し、鉄資源を細かく分ける作業で重機使用が増えた二酸化炭素排出量は増加したが、金属のリサイクルは推進出来たことは良い点と捉えています。 金属仕入量の変化により基準年度(2021年度)と比較し、2022年度実績の変化が大きかったため、2022年度基準で3か年計画を見直す。
環境マネジメントシステム	・計画的に運用及び運用確認が実施され、変更の必要性なし。
外部からの苦情や要望	・過去3年間関係当局からの違反、近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟等もない。
前回の代表者による見直しの指示事項への取組結果	・3か年計画を見直し➡目標改定を確認
指示事項(社長)	
環境経営方針、環境経営目標	変更あり。
環境マネジメントシステム	良好のため、変更無し。
実施体制、その他	良好のため、変更無し。

別表 スズキメタル株式会社産業廃棄物業、許可リスト(2023 年 8 月 31 日現在)

		許可番号	新規許可 年月日	許可の 有効年月	産廃の種類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)												
					廃 プラスチック 類	金 属 く ず	器 ぐ ず	ガ ラ ス 陶 磁	紙 く ず	織 維 く ず	木 く ず	が れ き 類	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	汚 泥	渣
処分 (切断) (圧縮)	千葉県	第 1220048363	H9.7.22	R9.7.21	○	○	○ 注 1										
収集 運搬	千葉県	第 1200048363	H9.10.8	R9.10.7	○ 注2	○ 注 3	○ 注2	○	○	○	○ 注4	○	○	○	○	○	注 5 注 7
	茨城県	第 0801048363	H11.4.15	R6.4.14	○	○	○	○	○	○	○						
	埼玉県	第 1107048363	H11.5.20	R6.5.19	○ 注4	○ 注 6	○ 注 4										
	東京都	第 13-00-048363	H11.5.28	R6.5.27	○	○	○										
	神奈川県	第 01400048363	H26.8.13	R6.8.12	○ 注4	○	○ 注4	○	○	○	○ 注4	○			○		

注1・・・使用済み自動車、解体自動車、石綿含有廃棄物であるものを除く。注2・・・石綿含有廃棄物を含み、自動車等破砕物は除く。注3・・・自動車等破砕物を除く。注4・・・石綿含有産業廃棄物を含む。注5・・・千葉県の「石綿含有廃棄物を含む」の記載のない種類については、石綿含有産業廃棄物を収集・運搬出来ない。注6・・・石綿含有廃棄物を含まない。がれき類を除く。注7・・・自動車廃棄物等は安定型廃棄物としての処理は行わないこと。